

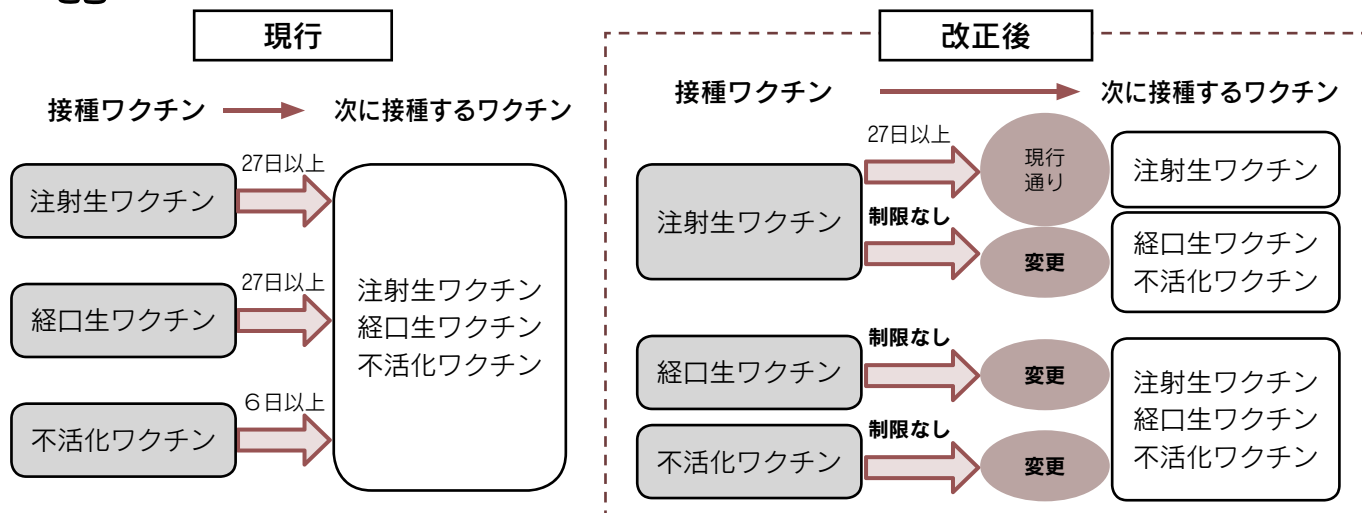
10月1日～

異なる予防接種の接種間隔が改正になります



異なるワクチン間の場合、接種してから別のワクチンを接種するまでに、一定の間隔を空ける必要がありましたが、定期接種実施要領の改正により、10月1日から、接種間隔の制限が一部緩和されます。

※同一ワクチンを複数回接種する際の接種間隔の制限は、従来通りです。また、2種類以上の予防接種を同時に行う同時接種は、医師が特に必要と認めた場合に実施できます。☎秩父保健センター ☎22-0648



注射生ワクチン：BCG、水痘、麻しん・風しん混合、おたふくかぜ

経口生ワクチン：ロタウイルス

不活化ワクチン：ヒブ、小児肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、二種混合、日本脳炎、子宮頸がん予防、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌

ご寄贈ありがとうございました

次の方から、感染症予防のためにご寄贈いただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。

▶ 7月27日、株式会社トーワホーム（代表取締役会長土屋賢二）様から、市立幼稚園・小中学校へ大型扇風機88台

認知症は

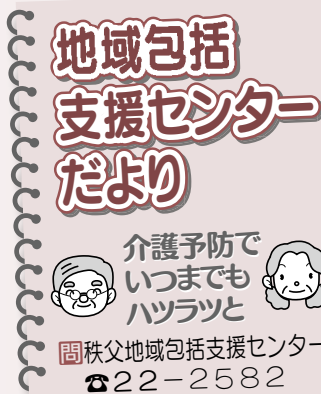
“早めの気づき”が大切です！

◎早く気付くことが大切

認知症は、早期の発見と治療がとても大切な病気です。症状が悪化する前に適切な治療やサポートで進行を遅らせることができる場合があります。

◎認知症になると

通常の老化による衰えとは違い、



- さまざまな原因により、脳の働きが悪くなることで、記憶力や判断力などに影響が生じます。それにより、日常生活にまで支障が出る可能性があります。
- ◎こんな変化はありませんか？
- 〈高齢者本人の気づき〉
- ① 直前にしたことや、話したことを忘れてしまうようになった
 - ② 置き忘れやしまい忘れなどで探し物をするが増えた
 - ③ 日付や曜日を間違える
 - ④ 今までできていた家事や計算などのミスが多くなった
- 〈家族など周囲の気づき〉
- ① 同じことを何度も言ったり、尋ねたりするようになった
 - ② 少し複雑な話になると、理解できなくなった
 - ③ おしゃれや清潔感など、身だしなみに気を遣わなくなった
 - ④ 今まで好きだった趣味などへの関心がなくなってきた
 - ⑤ ささいなことでも怒りっぽくなった
- いくつかの項目に当てはまる場合、認知機能が衰えている可能性があります。高齢者本人だけでなく、家族など周囲の人も「今までと違う」と感じるものがあつたら、秩父地域包括支援センターにご相談ください。
- また、認知症を知る機会として、認知症サポーター養成講座（市報7月号9ページに掲載）にも、ぜひご参加ください。